

# ICU/HCU における COVID-19 患者 受け入れ体制準備チェックリスト：看護師版

一般社団法人 日本集中治療医学会  
看護卒後教育検討委員会、協力：COVID-19 対策看護チーム (2019/5/5)

COVID-19 患者（疑い患者含む）を受け入れる ICU や HCU 向けに、組織として確認すべきことをチェックリストにまとめました。管理者のみでなく、すべてのスタッフが、自分たちの施設の準備状態が整っているか、事前の教育が不足していないかをこのチェックリストで確認することをお勧めします。また、すでに、受け入れ中の施設も今一度、体制が整っているか確認することを推奨します。

各チェックリスト項目の詳細に関しては、すでに発行されている日本集中治療医学会の「ICU における COVID-19 患者看護 Q and A」、日本クリティカルケア看護学会の「COVID-19 重症患者看護ガイド」、ELNEC-J クリティカルケアカリキュラム開発研究会「COVID-19 感染症に罹患した患者さん・ご家族へのケアガイド」を参照ください。該当箇所が分かるように、「ICU における COVID-19 患者看護 Q and A」は (IC-Qx)、「COVID-19 重症患者看護ガイド」は (CC-px)、「COVID-19 感染症に罹患した患者さん・ご家族へのケアガイド」は (ELNEC-JCC px) と記載しています (x はページ番号を示す)。

## 受け入れ体制

- ゾーニングを感染制御部と相談し、決め、スタッフと共有した
- 汚染区域（赤：ホットゾーン）に入る全てのスタッフ・職種の確認をした
- 陰圧室の数や換気システムを確認した
- 個室・陰圧室が使用できない場合の対応を医療チームと協議しスタッフと共有した
- 受け入れ可能人数の確認をした
- エアロゾル発生手技を共有した (CC-p5)
- COVID-19 確定患者と、疑わしい患者に対する PPE の違いについて共有した

## PPE：个人防护具関連

- 適切な PPE 特に首周りや背中に関して注意した (CC-p4)

- ❑ PPE 着脱を、全てのスタッフが確実にできるかを確認した
- ❑ 着脱に関して、1 人で行うのか 2 人で行うのかを決定（2 人を推奨）した（CC-p3）
- ❑ エアロゾル発生時と非発生時の PPE の違いを確認し、周知した（CC-p3）
- ❑ N95 使用時はシールテストを行うことを周知した（CC-p6）

## 気道管理

### 気管挿管の介助（CC-p9）

- ❑ どこで気管挿管を行うか医療チームと確認した
- ❑ 気管挿管時の PPE を確認し、周知した
- ❑ ビデオ喉頭鏡（又はファイバー）が使用可能か確認した
- ❑ BVM, ジャクソンリースはディスポーザブルが使用できるか確認した
- ❑ BVM あるいはジャクソンリースにウイルス捕獲率の高いフィルターを接続することを周知した（IC-Q10）
- ❑ （可能であれば）曝露予防のアクリルのボックスを準備した
- ❑ カフにエアを入れるまで換気を行わないことを周知した
- ❑ 聴診器を用いないことを周知した
- ❑ 気管挿管時に CO<sub>2</sub> センサーを使用することを周知した
- ❑ 鎮静薬、鎮痛薬、筋弛緩薬を確認し、咳嗽反射を抑えることを共有した

### 抜管の介助（CC-p12）

- ❑ どこで抜管を行うか確認した
- ❑ 抜管手法に関して医療チームで共有した（CC-p12）
- ❑ 抜管時の PPE を確認し、周知した（IC-Q11）
- ❑ （可能であれば）曝露予防のアクリルのボックスを準備した
- ❑ 抜管後、患者にサージカルマスクを着用してもらうことを周知した（IC-Q11）
- ❑ 排痰時の取り扱いについて確認し、周知した

## 呼吸管理

HFNC（高流量鼻カニューラ酸素療法）（IC-Q7, CC-p7）

- HFNC 導入に関する方針を、医療チームと確認した。
- HFNC をどこで行うか医療チームと確認した（個室や陰圧室）
- HFNC の機種は COVID-19 患者に使用できるか臨床工学技士に確認した

#### NPPV（非侵襲的陽圧換気）（IC-Q6, CC-p6）

- NPPV を行う方針に関して医療チームと相談した
- NPPV をどこで行うかを確認した（個室や陰圧室）
- COVID-19 患者に使用できる機種を臨床工学技士に確認した
- NPPV を行う場合の注意点を周知した

#### 人工呼吸器（CC-p9）

- COVID-19 患者に使用できる人工呼吸器とその表示法を臨床工学技士に確認し、周知した
- HMEF（フィルター付き人工鼻）の使用を周知し、交換頻度や交換の方法を確認した（IC-Q9）
- 閉鎖式吸引回路の使用を周知し、交換頻度や交換の方法を確認した（IC-Q9）
- 人工鼻や閉鎖式吸引の交換時には鎮静・筋弛緩薬などで咳嗽反射を抑える方針が医療チームで確認した
- HMEF と閉鎖式吸引回路の在庫を確認した
- 閉鎖式吸引使用時も N95 を使用することを周知した
- 吸入の方法と手順について医療チームで確認した

#### その他の医療機器の管理

##### CRRT

- 導入の際の必要物品について特に配慮すべきことを医療チームで確認した
- 排液を処理する方法について臨床工学技士に確認した

##### V-V ECMO（体外式膜型人工肺）

- 導入の際の必要物品・人員について、特に配慮すべきことを医療チームで確認した
- オートフラッシュ機能がついているか否か確認した
- 機器設定および回路の確認の頻度について、医療チームと確認した
- 結露水排出口の保護とプラズマリークを確認した際の対応を周知した（IC-Q16）

## 医療機器の消毒・滅菌 (CC-p16)

- 医療機器ごとに使用できる薬剤（消毒方法）を臨床工学技士に確認した
- 医療機器ごとに装置内部や部品等の消毒・滅菌方法について臨床工学技士に確認した
- 患者ごとに交換が必要な消耗品（フィルタなど）と在庫を確認した

## 搬送 (CC-p13,14,IC-Q1,2)

### 全般

- 搬送時の経路を確認した
- 搬送時の連絡先を確認（搬送先、事務部門や警備部門との連携が必要になる）した
- 重症患者搬送時の医療スタッフの PPE を確認した
- 標準的に持参するもの（シリンジや薬品、除細動器）を医療チームで確認した
- 移送経路の清掃の必要性を病院の規定に従って確認した

### 人工呼吸中

- 搬送用人工呼吸器を使用するか確認した
- 搬送用の人工呼吸器は COVID-19 に使用可能か臨床工学技士に確認した

## 検査や検体採取 (CC-p17)

- 採血と検体の取り扱い/搬送手順を確認した
- PCR 採取の際の手順や頻度について確認した

## 環境整備 (CC-p15)

- 使用できる消毒液を確認した (CC-p16)
- 単回使用でない BVM やジャクソンリースの滅菌方法を確認した
- ベッドサイドレールや記録台、PC やマウスなど、記録台周囲の消毒清拭の方法と頻度を決定した (IC-Q18)

- ポータブルトイレの消毒清拭の方法を確認した (CC-p16)
- 汚物の取り扱い方法を確認した (CC-p15)
- カーテンの交換について確認した
- 病衣の取り扱いを確認した (洗濯方法, CC-p16)
- 患者個人の衣類等の取り扱いを確認した
- 廃棄物の取り扱いを確認した (部屋から外に出すときの手順など)

## 清潔ケア

- 単回使用の物品を準備した
- 排水の処理方法を確認した
- 患者に使用したタオルやリネン類の洗濯の出し方を確認した

## 口腔ケア (IC-Q15)

- 口腔ケア時の PPE を確認した
- 口腔ケア方法を周知した

## 食事

- COVID-19 患者に対する食事オーダーの注意点を栄養部と確認した
- 配膳・下膳時の手順を確認した
- 聴診による胃泡音の確認はおこなわないことを確認した

## 薬剤投与

- 薬剤準備から投与までの手順について確認、周知した
- 麻薬・毒薬の空アンプルの返却の方法を薬剤師と相談した
- 伝票の取り扱い方法を確認した (特に麻薬伝票をホットゾーンに入れない)

## 急変時の対応

- ❑ BLS/ACLS アルゴリズムを確認した
- ❑ BVM あるいはジャクソンリースに人工鼻を装着することを周知した

## 家族対応

- ❑ 面会に関する取り決めを組織で決め、周知した (CC-p17, 18)
- ❑ 面会できる場面と面会する際の注意事項について家族と共有した (IC-Q17) (CC-5)
- ❑ 入院後早期に ACP に関して話し合うことを周知した (ELNEC-JCC p58)
- ❑ 家族と患者がコミュニケーションをとれる方法を検討した (IC-Q17), (ELNEC-JCC p56)

## 終末期・死亡時の対応

- ❑ 臨終時の家族の立ち合いについて確認した (CC-p21)
- ❑ 死亡時のエンゼルケアの方法を確認した (CC-p22)
- ❑ 死亡退院時の経路を確認した
- ❑ 葬儀社への連絡系統を確認した (IC-Q24)
- ❑ 退院後の清掃方法について確認した

## スタッフ管理

- ❑ ソーシャルディスタンスに基づいたスタッフ控え室の使用方法を決め、周知した
- ❑ スタッフ控え室でのルール（食事中の会話を控える、清掃を行うなど）を決め、周知した (IC-Q22)
- ❑ スタッフが暴露した場合の手順を感染制御部に確認した
- ❑ スタッフの体調管理方法を統一し、周知した
- ❑ スタッフが発熱またはその他の症状が出たときの対応方法を周知した
- ❑ 担当スタッフを選定した（免疫が低下しているなど感染リスクが高く担当が難しいスタッフの有無を確認した）
- ❑ 欠員時のスタッフの手配（他病棟からの候補者のトレーニング）をした
- ❑ スタッフのメンタルサポートについて確認した

**教育関連（事前にシミュレーションを行うことが推奨されるもの）**

- PPE の着脱
- 気管挿管、抜管の介助
- 患者受け入れの準備（物品、環境など）
- CPR
- 人工鼻及び閉鎖式吸引の交換方法（IC-Q9）